

4 財産に関する調書

公有財産、物品、債権及び基金の状況は、次のとおりである。

(1) 公有財産

ア 土地及び建物

		(単位 m ²)		
区 分		前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
土 地		29,914,082.34	40,205.27	29,954,287.61
建 物 (延面積)	木 造	38,395.72	△157.08	38,238.64
	非木造	2,220,058.56	△3,790.83	2,216,267.73
	計	2,258,454.28	△3,947.91	2,254,506.37

(注) 土地の面積には、山林が含まれている。

(ア) 土地の総面積は、決算年度末現在 29,954,287 m²で、前年度末に比べ 40,205 m²増加していた。

増加した主なものは、公共施設整備事業用地 29,589 m²、安倍口団地道路用地 3,874 m²である。

減少した主なものは、日本平久能山スマートインターチェンジ整備事業用地 8,773 m²、病院用地 4,899 m²である。

(イ) 建物の延面積は、決算年度末現在 2,254,506 m²で、前年度末に比べ 3,947 m²減少していた。

増加した主なものは、東静岡アート&スポーツ／ヒロバ 1,296 m²、草薙駅北口駐輪場事業用地 563 m²である。

減少した主なものは、旧清水清掃工場 3,983 m²、旧静岡乳児院 566 m²である。

イ 山林

(単位 面積 m^2 ・蓄積量 m^3)

土地の権利 の区分	土地面積	立木の推定蓄積量		
	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
直営	16,839,556.53	299,515.00	1,595.00	301,110.00
分収	3,855,618.19	48,437.00	3,065.00	51,502.00
貸付	31,163.15	—	—	—
計	20,726,337.87	347,952.00	4,660.00	352,612.00

(ア) 山林の総面積は、決算年度末現在 20,726,337 m^2 で、決算年度中の増減はなかった。

(イ) 立木の推定蓄積量は、決算年度末現在 352,612 m^3 で、前年度末に比べ 4,660 m^3 増加していた。

ウ 動産

区分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
浮き栈橋	7 個	—	7 個
航空機	1 機	—	1 機

(ア) 浮き栈橋は、鯨ヶ池に 3 個、小鹿公園二ツ池に 2 個、用宗フィッシャリーナに 2 個設置してあるもので、決算年度中の増減はなかった。

(イ) 航空機は、葵区諏訪の静岡ヘリポートに配備してあるもので、決算年度中の増減はなかった。

エ 物権

区分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
温泉権	23 件	—	23 件
地上権	5,120.71 m^2	—	5,120.71 m^2
地役権	37,003.10 m^2	—	37,003.10 m^2

(ア) 温泉権は、決算年度末現在、梅ヶ島温泉など 11 か所 23 件で、決算年度中の増減はなかった。

(イ) 地上権は、決算年度末現在、麻機児童館事業用地など 9 か所 5,120 m^2 で、決算年度中の増減はなかった。

(ウ) 地役権は、決算年度末現在、林道有度沢線など 27 路線等 37,003 m^2 で、決算年度中の増減はなかった。

オ 有価証券

(単位 千円)

区 分	前年度末現在額	決算年度中増減額	決算年度末現在額
株 券	202,427	—	202,427

(ア) 株券は、決算年度末現在、清水埠頭株式会社など 17 銘柄 2 億 242 万円で、決算年度中の増減はなかった。

カ 出資による権利

(単位 千円)

区 分	前年度末現在額	決算年度中増減額	決算年度末現在額
出資金・出捐金	13,879,970	44,990	13,924,960

(ア) 外郭団体等に対する出資金・出捐金は、決算年度末現在 139 億 2,496 万円で、前年度末に比べ 4,499 万円増加していた。

(2) 物品

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
車 両	552 台	9 台	561 台
庁 用 器 具	168 点	—	168 点
織 維 皮 革 製 品	17 点	—	17 点
事 務 用 品	59 点	1 点	60 点
計 量 器	119 点	1 点	120 点
光学通信音響機器	487 点	△4 点	483 点
医 療 機 器	332 点	17 点	349 点
厨 房 調 理 機 器	512 点	1 点	513 点
機 械 器 具	646 点	△20 点	626 点
登 録 外 車 両	45 台	△5 台	40 台
音 楽 用 品	220 点	—	220 点
運 動 用 具	188 点	2 点	190 点
図 書 ・ 美 術 品	1,009 点	△8 点	1,001 点
雑 品 類	232 点	3 点	235 点
動 物	23 点	△1 点	22 点
共 用 物 品	11 点	—	11 点
計	4,620 品	△4 品	4,616 品

ア 物品は、決算年度末現在 4,616 品で、前年度末に比べて 4 品減少していた。

(3) 債権

(単位 千円)

区 分	前年度末現在額	決算年度中増減額	決算年度末現在額
奨 学 金 貸 付 金	270,187	35,554	305,741
母 子 ・ 父 子 ・ 寡 婦 福 祉 資 金 貸 付 金	3,136,276	△54,247	3,082,028
保 留 床 取 得 資 金 貸 付 金	602,488	△41,132	561,356
地 域 総 合 整 備 資 金 貸 付 金	1,274,900	△231,800	1,043,100
介 護 保 険 法 第 22 条 第 3 項 の 規 定 に よ る 返 還 金	166,233	△7,219	159,014
介 護 保 険 法 第 22 条 第 3 項 の 規 定 に よ る 加 算 金	74,984	△1,428	73,556
新 幹 線 通 学 費 貸 付 金	152,872	11,605	164,478
静 岡 病 院 独 法 移 行 前 地 方 債 償 還 債 務 負 担 金	5,281,382	△269,256	5,012,126
静 岡 病 院 事 業 貸 付 金 (地 方 独 立 行 政 法 人 移 行 後 分)	900,000	—	900,000
計	11,859,325	△557,924	11,301,401

(注) 貸付金債権の決算年度末現在額は、各貸付金の残高から決算年度末における収入未済額を除いたものであり、次年度以降に償還期限が到来する債権の額である。

ア 債権は、決算年度末現在 113 億 140 万円で、前年度末に比べ 5 億 5,792 万円減少していた。

(4) 基金

(単位 千円)

区 分		前年度末 現 在 額	決算年度中 増 減 額	決算年度末 現 在 額
主 な も の	財 政 調 整 基 金	7,820,492	2,491,185	10,311,677
	市 債 管 理 基 金	40,350,571	3,650,191	44,000,763
	土 地 開 発 基 金	1,900,000	—	1,900,000
	電 気 事 業 経 営 記 念 基 金	2,990,982	629,037	3,620,019
	静 岡 競 輪 場 施 設 改 善 基 金	1,674,714	720,041	2,394,755
	国 民 健 康 保 険 事 業 基 金	3,431,882	61	3,431,943
	介 護 給 付 費 等 準 備 基 金	497,552	890,662	1,388,214
	健 康 福 祉 基 金	438,302	1,000,909	1,439,211
	一 般 廃 棄 物 処 理 施 設 整 備 基 金	1,691,828	450,208	2,142,036
	森 林 環 境 基 金	693,839	△ 30,000	663,839
	地 域 振 興 基 金	4,000,000	—	4,000,000
	清 水 漁 業 振 興 基 金	890,374	34	890,408
	都 市 整 備 基 金	658,771	597,488	1,256,260
	新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 経 済 変 動 対 策 資 金 特 別 利 子 助 成 基 金	1,547,000	△ 498,071	1,048,928
	公 共 建 築 物 整 備 基 金	0	5,000,000	5,000,000
	上記以外のもの (31 基金)	3,805,964	51,101	3,857,066
計 (46 基金)	72,392,276	14,952,848	87,345,125	

ア 基金は、決算年度末現在 873 億 4,512 万円で、前年度末に比べ 149 億 5,284 万円増加していた。

基金の保有状況は、次のとおりである。

(単位 千円)

区 分	前年度末現在額	決算年度中増減額	決算年度末現在額
現 金	68,201,603	14,952,848	83,154,452
定 額 資 金	1,920,000	—	1,920,000
有 価 証 券	2,270,673	—	2,270,673
計	72,392,276	14,952,848	87,345,125